

第2回 白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会

令和2年12月17日(木) 開催

「白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会」では、自宅での療養が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしが続けられることを目指して、医療・介護職、民生委員、警察・消防等の委員が、様々な課題の解決に向けた検討を行っています。協議会の活動詳細および議事録については、市ホームページにてご覧いただけます。

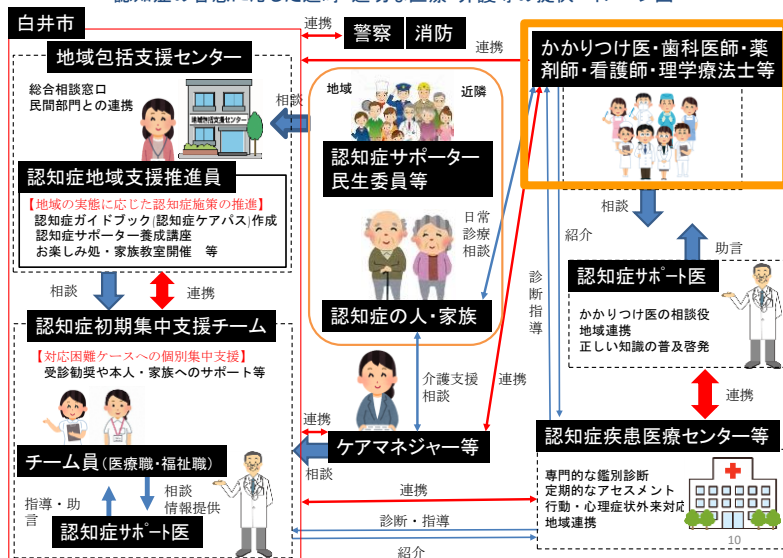
●●● 第2回協議会の主な内容 ●●●

現在策定中の「第8期介護保険事業計画」(素案)について、ご意見を伺いました。

令和3～5年度計画における認知症施策、医療と介護の連携推進の方針について、説明しました。認知症の容態に応じた適切な関係者間の連携を更に推進させていくために、現状の課題について話し合いました。また、感染症対応の現状や課題についても意見を伺い、在宅医療・介護連携推進事業の枠組みを活用して取り組めることについて、ご提案をいただきました。

認知症施策の推進に向けて

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供 イメージ図



<課題>

かかりつけ医や薬局等への地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームの周知が不十分

プライバシーに配慮しつつ、認知症の方への支援を充実させるため、診療所、歯科診療所、薬局との連携推進に取り組んでいきます。

感染症対策への取り組み提案

<介護関係委員の意見> 介護従事者は感染症や感染予防の知識・技術が不十分なことにより、不安感だけが増している。厚生労働省から様々な情報提供を受けているが、日々の業務に追われて資料を読み込めていないのが現状である。対応について悩んだ時に、気軽に相談できる医療関係者がいると安心できる。また、事業所同士で情報交換を行い、工夫している取り組みを共有できると良い。

市の取り組み

介護従事者が正確な知識のもと安心して従事できるよう、相談体制や情報共有の枠組み作りについて検討していきます。